

風のスタジオ情報

◎TEAM HACCH 第2回公演

『短もつなげば長となる。』

出演：阿部光希 遠藤美空 高橋杏咲 西河虹輝 沼崎想志
三浦稜平 吉川あす華

3月16日(木) 1st.19:30
17日(金) 2st.19:30
18日(土) 3st.14:00 / 4st.19:00
19日(日) 5st.14:00
*開場は開演 30 分前
*上演時間 60 分



料金：一般 / 1,000 円
学生 & U22 / 500 円
(前売り当日共通)

予約：①予約フォームから

<https://www.quartet-online.net/ticket/niogdiv>

②メールから

お名前、お電話番号、ご住所、ご希望の日時、枚数を
teamhacch@gmail.com までお送りください。

お問い合わせ：teamhacch@gmail.com

080-1829-4873 (制作)

◎カンザスハリケーン第5回公演

『52ヘルツの鯨』

脚本/演出 日本人



4月1日(土) 1st.14:00 2st.19:00

2日(日) 3st.14:00 ※開場は開演 30 分前

料金：一般前売 / 1,500 円 一般当日 / 2,000 円
18歳以下 / 500 円

予約：予約フォームから

https://pppits.com/kh/52hz_ticket

お問い合わせ：090-4318-3623 (代表)

鉤屋町界隈
情報

★「ぶらり鉤屋町マップ」最新版無料配布中

盛岡市大慈寺地区景観地区の楽しみ方を紹介する「ぶらり鉤屋町マップ」
等各種パンフレットを「大慈清水御休み処」で配布中です。

「盛岡まち並み塾」のホームページからもダウンロードもできます。

鉤屋町界隈の歴史資源、飲食・一休みスポット、アクセス情報等を掲載。

★4/8(土)～30(日)「盛岡町家の春祭り」開催♪

盛岡市鉤屋町界隈の魅力を楽しむ新たな取組を開催準備中です。

「盛岡町家旧暦の雛祭りミニ」も同時開催。

詳細はホームページにてお知らせしていきます。

※集客分散長期開催企画につき歩行者天国は予定しておりません。

盛岡まち並み塾 HP→



【最新情報・お問合せ先】

営業時間 10時～16時(水曜日定休)

所在地 〒020-0827 盛岡市鉤屋町 3-15

※大慈清水のすぐ近くです♪

お問合せ NPO 法人盛岡まち並み塾事務局

TEL 019-656-1603



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル3階

TEL(019)656-8145 FAX(019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL <https://iwate-arts.jp>



本部 HP

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL(019)604-9020 FAX(019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL <https://kaze.iwate-arts.jp>

<窓口営業時間> 月～金 9:30～17:30 ※土日及び祝日・年末年始休み

<施設利用可能時間> 9:30～21:30



風のスタジオ HP

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 盛岡市鉤屋町10-8

TEL(019)654-2911 FAX(019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL <https://machiya.iwate-arts.jp>

<開館時間> 9:00～19:00 (最終入場 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで

<大正蔵1階ショップ&カフェ営業時間> 10:00～17:00

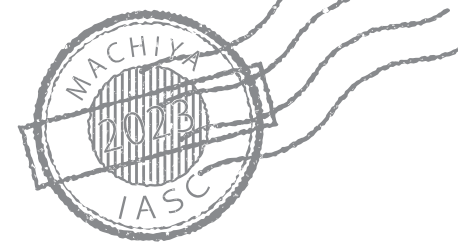
<休館日> 毎月第4火曜(祝日の場合はその翌日) 年末年始 12/29～1/3

<入館料> 無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

大正蔵1階
「時空の商店街」
SHOP & CAFE
インスタグラム



もりおか町家物語館 HP



3

もりおか町家・風の通信



もりおか町家物語館 母屋の常居に

雛人形を飾っています

(※写真は昨年の様子です。)



岩手ゆかりの近代詩文書作品展

初開催の書道作品公募展です。岩手ゆかりの近代文学者の詩歌等の一節を書にした作品を展示しています。



<一般公募・招待作家作品展>

展示期間：～3月12日(日)

展示場所：もりおか町家物語館 大正蔵2階「時空の展示室」

※招待作家作品(佐藤氷峰、佐藤平泉、吉田晨風)数点も同時展示。石川啄木記念館所蔵の金子鷗亭の作品も特別展示しています。



<盛岡市所蔵美術品展>

展示期間：～3月21日(火・祝)

展示場所：もりおか町家物語館 大正蔵1階「展示コーナー」

※松本筑峯、宮部北流、村井孤月の作品を展示。

町家事業 REPORT

◆町家弦楽アンサンブル 2022

バイオリン初心者が、発表会を目標に12回の講座を行い、弦楽器を演奏する楽しさを体験する企画。1月28日(土)に8名の受講生による成果発表会が行われ、50名近くの方にご来場いただきました。当日は緊張しながらも、いわてフィルハーモニーからの客演とともにこれまでの練習の成果を發揮した素晴らしい演奏をみせた受講生たち。ご来場のお客様からも大きな拍手をいただきました。

◆MACHIYART2022 エニナルモリオカ

今回で4回目の開催となりました。盛岡を表現した絵画や版画、写真の作品を公募し、42名61作品が集まりました。小学生～80代まで幅広い世代の方にご参加いただきました。

ご鑑賞頂いた方々から、色々な盛岡が表現されていて面白い展示だったという感想が多く寄せられました。今後も継続して開催し、皆様に楽しんでいただけるように努めていきたいと思っております。

◆第5回ヒョンたな盛岡弁塾

2月11日(土)、シンガーソングライター・田口友善氏による盛岡弁に親しむイベント「第5回ヒョンたな盛岡弁塾」が開催され、75名の方々にご来場いただきました。今回は岩手大学准教授で方言学者の竹田晃子氏をゲストに迎え、盛岡弁と宮古弁との比較や、クイズ、名曲を盛岡弁に翻訳した訛り歌など、内容盛りだくさんのイベントになりました。ご来場ありがとうございました。



◎盛岡市市民協働推進事業

震災短編小説「あの日から」朗読劇連続公演

【1】柏葉幸子 短編3作品 朗読 「風待ち岬」「海から来た子」他
作：柏葉幸子 演出：江幡平三郎

3月5日(日)14時開演 会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール
柏葉幸子・江幡平三郎によるアフタートーク有。

【2】「スウィング」 作：大村友貴美 演出：坂田裕一

3月12日(日)11時開演/14時開演

会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール

14時の回は大村友貴美・坂田裕一によるアフタートーク有。

【3】「さるの湯」 作：高橋克彦 演出：盛合なおと

3月26日(日)14時開演 会場：風のスタジオ

道又カ他によるアフタートーク有。

各料金：一般1,000円 高校生以下500円(当日は200円増し)

お問合せ いわてアートサポートセンター TEL:019-656-8145(平日10時～18時)

◎いわて文化振興プロジェクト

朗読劇「3.11 絵本プロジェクトいわて『絵本が紡いだ絆と希望』」

脚本：かつらうめ 演出：盛合なおと

出演：住本結花、森尾絵美里、西島芽、高橋礼子(岩手めんこいテレビアナウンサー)

ピアノ演奏：鈴木牧子 末盛千枝子他によるアフタートーク有。

3月18日(土)14時開演 会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール

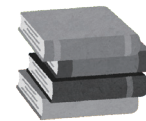
料金：一般1,000円 高校生以下500円(前売・当日とも)

お問合せ もりおか町家物語館 TEL:019-654-2911



「大正蔵1階 SHOP&CAFE」

～書籍コーナーのご案内～



○ 当店では岩手ゆかりの作家作品や、盛岡にちなんだ雑誌を取り扱っております。

○ 今回は盛岡を舞台とした芝居や盛岡で撮影された映画の原作本をご紹介します。

○ 『北帰行』『影裏』『終わった人』などなど……。作品のシーンを思い浮かべ

ながら盛岡の町並を散策されてはいかがでしょうか？

○ この他、ショップでは盛岡の工芸品や地酒、銘菓など、賑わいに溢れた品揃え

○ で皆様のお越しをお待ちしております。

営業時間：10:00～17:00 ※第4火曜日は休館日

震災短編小説集「あの日から」朗読劇の連続公演の一環で、柏葉幸子さんの3作品を子どもが朗読する舞台の演出を担当しています。公募に対して小学5年から高校2年までの女の子14人が集まってくれ、昨年12月に稽古がスタートしたところ。今はようやく顔合わせを終え、一つ一つの作品をみんなで輪読している状態。朗読劇としての完成形は全く見えてきません。ただ、「それぞれの作品の登場人物の年齢や服装、髪型、仕事、そして性格などを想像してみよう！」とお題を出したところ、イラスト入りで書いてくれたり、趣味や行きつけの店まで書いてくれたり、出演者一人一人の中にしっかりとオリジナルの物語が描かれているのが印象的でした。

2月からはそれぞれの作品ごとに小グループに分かれて稽古に移ります。今度はそれぞれが持つ物語のイメージを、グループで演じたり、話し合ったりしながら一つの物語にまとめあげる作業。作品を読んだ「私と物語」という構図から、グループで共有された「みんなの物語」に昇華させて、来場者一人一人に届けます。想像力無限大の子ども達がまとまることで、一体どんな舞台が創造されるのか？オジサンには思いもつきません。きっと作者の柏葉さんもビックリするような朗読劇になるかもしれません。

終演後には柏葉さんとのアフタートークで、大人たちの感想も披露したいと考えています。是非、足をお運びください。